安全教育全体計画

基本的な考え方 -

- ・児童が安全について必要な事 柄を理解し、それを日常生活 に適用し、常に安全な行動が できるようにすることを目的 として行う。
- 児童の学校生活が安全に営ま れるよう、事故を未然に防止 することを主たる目的として 必要な条件整備を行う。
- ・ 震 度 5 以 上 の 地 震 を 想 定 し 、 場に応じた避難の方法を身に つけることを目的として行う。

学校教育目標 -

強く 正しく 豊かに

短期の重点目標「豊かな心と健やかな体の育成」

安全教育の目標

生涯にわたって健康で安全な生活を 送るために必要な知識や実践力を身 に付ける。

自己管理能力・危険予知能力・危険回避能力の育成

中央区立久松小学校

児童の実態・教師の願い -

- ・基本的な生活習慣、ルール やマナーなどの規範意識の 定着については数年来の課 題となっている。
- ・児童が安全について自覚し、 進んで行動できる子に育て たい。
- ・地域や保護者は、児童を犯 罪や事故から守りたい、安 心・安全な学校であってほ しいと願っている。

中学年 低学年 高学年

できる態度や能力を育てる。

度や能力を育てる。

進んできまりを守り、安全に行動 危険に気付き、安全な行動ができる態 自他の安全について自ら考え、行動 できる態度や能力を育てる。

> $\overline{\Box}$

- 要な事柄を理解し、きまりを守 り、安全に行動できる。
- 横断や歩行ができる。
- ○避難訓練の仕方を身に付ける。
- いて理解し、正しい判断の下に安全 な行動ができる。
- かを**考え、安全に行動**できる。
- ○避難訓練の内容を理解し行動する。
- ○日常生活の安全を保つために必 ○日常生活に潜むいろいろな危険につ ○高学年として、リーダーシップを とり、自他の安全を考えて行動で きる。
- ○交通のルールがわかり、安全な○交通安全について、どうしたらよい○交通事故防止の知識・理解を高め
 - ○率先して避難する仕方を身に付け る。

各教科等 -

生命の尊重や安 生命の尊重、身の回り や技能の指導をするか取り巻く環境の安全

について考え、実践的な

道徳

態度を養う。

特別活動

日常生活における安全にと に的確に対応することなどに 成する。

総合的な学習の時間 -

自分の生活や地域を見つめ、 全についての知識┃の整理と安全の保持、自┃って必要なこと、不測の事態┃追究する体験的な活動を通し て、危険に気付き、安全に行 ついて、主体的な実践力を育し動できる資質・能力を養う。

生活安全

○安全点検

毎学期末実施

※年間計画参照

- ・危険箇所は担当者が修理 業者に依頼
- ・ 特別 教室の管理
- ○安全指導
 - 毎月10日に実施
 - 安全指導年間計画の作成

- 交通安全 -

- ○登下校指導
 - 年間4回実施
 - 全職員参加
 - ・登校班での登校
 - 通学路の安全
 - ・安全マップの活用

一 災害安全 —

○避難訓練

- 年間 11 回実施 地震・火災 引き取り訓練 不審者侵入
- ・多様な想定で実 施する。

— 地域諸団体との連携

- PTA 校外部による**下校パトロール**
 - · 毎週水曜日実施
- ○交通安全教室(1年生)
 - 久松警察、交通安全指導員に よる指導
- ○地域との連携
 - · 青少年健全育成委員
 - ・ 久松交通母の会
 - ・子ども 110 番の家
 - ・地域安全パトロール

【生活指導主任】 中央区生活指導主任研・中央区校外生活指導連絡協議会・久松補導連絡会・ 学校安全年間計画の作成

生活指導全体会

職員会議・職員朝会・職員夕会・学年会(情報の共有)

生活指導部会 看護当番・清掃指導・登校班・地域別児童会

久松マナー月間 (6・10・2月)・久松ふれあい月間 (11月)・セーフティ教室

職員校内研修

安全教育プログラムや危機管理マニュアルの共通理解・水泳に関する指導・不審者対応・災害時の対応等 エピペン講習会 (アレルギー対応シミュレーション) ・救命法